

TRANCO DEL LOBO

トランコ・デル・ロボ



ワイン名：トランコ・デル・ロボ
 ヴィンテージ：2021
 生産者名：ボデガス・セニョリオ・デル・フーカル
 原産国：スペイン
 地方・地区：カスティーリャ・ラ・マンチャ州アルバセーテ
 格付：DO マンチュエラ
 規格：750ml x 6本
 セパージュ：ボバル 100%
 樹齢：約70年の古木
 醸造：コンクリートタンクで発酵。(地場酵母)
 フレンチオーク6ヵ月熟成。

生産量：6千本
 アルコール度数：14.5%
 JANコード：8 423110 755578
 参考小売価格：¥3,000(税抜)

【テイastingコメント】

熟した赤い果実のピュアな香り。シルキーで凝縮感がありスパイスやまとまりのあるタンニンがゆっくりと口の中を広がっていく。

参考：ペニンガイド 88(2020 ヴィンテージ)

NOTES

1973年設立の家族経営のワイナリー。カスティーリャ・ラ・マンチャ州アルバセーテのフーカル川とカブリエル川に挟まれた樹齢の古い畑(80年を超えるものも)から、品質もさることながら環境へも配慮し、オーガニック(有機農法)でワインを造っています。畑は標高700~950mの粘土石灰質土壌で、この地のテロワールを表現する重要な存在であるフーカル川に敬意を表し、ワイナリーの名前にも冠しています。ワイナリーの近くにあるホルケラという村はフーカル川に浸食された絶壁上の小高い丘にあり美しい景観で知られていますが、フーカル川はその村を西から東へと蛇行しながら深さ200mの石灰質の渓谷を形成している特異な地形です。魚のユニークなラベルのクエバジャナシリーズから、今回新たにボバル100%で樽熟成したワインを初リリース、2016年が最初のヴィンテージです。ワインの名前はフーカル川の風景一帯を差し、トランコ・デル・ロボの意味は「狼の通り」、かつてフーカル川が流れていた場所は狼と遭遇する地でもありましたが今はヤギ、イノシシ、ワシや鹿など多くの動物を見ることができます。マンチュエラの特異なテロワールと複雑性をワインに表現しています。